

プロップ・コンピュータセミナー日程表

NEC 98コース

- 開催場所： 日本電気株式会社 関西支社 203セミナールーム
- 開催期間： 1994年7月1日～12月16日の期間中  
毎週金曜日 PM 6:30～9:00 (ただし、6:00から準備)  
祝日及び会場の都合により開催できない日を除く。
- 講習内容：
 

プログラミング	LSIC	(講師 川村 知久)	
ワープロ中級	一太郎、花子	(講師 木地本昌弥)	
データベース	桐	(講師 橋口 孝志)	* 敬称略
- 講習日程：

開催日	セミナーの内容	開催日	セミナーの内容
9月 2日	ワープロ中級 5/6	10月 7日	データベース 1/6
9日	プログラミング 6/12	14日	プログラミング 8/12
16日	ワープロ中級 6/6	21日	データベース 2/6
23日	休講	28日	プログラミング 9/12
30日	プログラミング 7/12		
11月 4日	データベース 5/6	12月 2日	データベース 5/6
11日	プログラミング 10/12	9日	データベース 6/6
18日	データベース 4/6	16日	プログラミング 12/12
25日	プログラミング 11/12		

Macintoshコース

- 開催場所： アップルセンター肥後橋 セミナー室 (原則第2水曜日)  
大阪ボランティア協会 4Fセミナー室 (原則上記以外の水曜日)
- 開催時間： アップルセンター肥後橋ではPM 6:30～8:45 (ただし、6:00から準備)  
大阪ボランティア協会ではPM 6:00～8:30 (ただし、5:30から準備)
- 講習内容：
 

Illustrator3.2j	(講師 花田 司、水原 茂)	
PhotoShop	(講師 花田 司、水原 茂)	
PageMaker	(講師 早野秀樹、榊原 淳)	
Director	(講師 水原 茂)	* 敬称略
- 講習日程：

開催日	場所	セミナーの内容	開催日	場所	セミナーの内容
9月 7日	ボラ協	Illustrator3.2j 2/4	10月 5日	ボラ協	PhotoShop 2/4
14日	AC肥後橋	Illustrator3.2j 3/4	12日	AC肥後橋	PhotoShop 3/4
21日	ボラ協	Illustrator3.2j 4/4	19日	ボラ協	PhotoShop 4/4
28日	ボラ協	PhotoShop 1/4	26日	ボラ協	PageMaker 1/5
11月 2日	ボラ協	PageMaker 2/5	12月 7日	ボラ協	Director 1/3
9日	AC肥後橋	PageMaker 3/5	14日	AC肥後橋	Director 2/3
16日	ボラ協	PageMaker 4/5	21日	ボラ協	Director 3/3
30日	ボラ協	PageMaker 5/5			

場所・開催日については変更になることがあります。事前にご確認下さい。

# お知らせ

## プロップ・ステーションについて

「プロップ」というのは「支柱」「つかえ棒」「支え合い」を意味する言葉で、プロップ・ステーションは、障害を持つ人の自立と社会参加、なかでも就労の促進や雇用の創出を目的に、ボランティアに活動しています。障害を持つ人達が、支えられるばかりの存在じゃなく、社会を支える一員として活躍できる状況を生み出していこう・・・という想いを「プロップ」という言葉に込めました。メイン・スタッフも、障害を持つ本人・家族などの当事者と、様々な技術を持ったプロフェSSIONナルで構成されています。会員制組織で、現在会員は全国に約200人。その1/3は、肢体・視力・聴覚・内臓などに様々な障害を持つ人達です。プロップ・ステーションでは、全国の障害を持つ人達に対するアンケート調査の結果、コンピュータやパソコン通信に関心を持ち、それらが自分たちの社会参加にとって有効な手段になると思う、という回答を多数頂いたことから、活動の柱を「コンピュータを媒体にした支援」においています。

## 会費などについて

### プロップ・ステーション

個人会費	5,000円
法人・団体会費	20,000円
(いずれも年度会費)	
ご協賛金	1口 5,000円
「FLANKER」年間購読費 3,000円	

### お振り込み先

郵便振込 00910-2-324322  
銀行口座 さくら銀行北浜支店  
普通預金 3302978

\*名義はいずれも「プロップ・ステーション」です。

### VANGUARD!

協力支援金 1口 3,000円

郵便振込 01100-1-73942

\*名義は「バンガード」です。

## 連絡先

### プロップ・ステーション (事務局)

〒530 大阪市北区同心1-5-27  
(社福) 大阪ボランティア協会内  
TEL&FAX 06-881-0041

### プロップ・ネット

06-882-5393 14400BPSまで対応 24時間  
ゲストID GUEST

### VANGUARD!

〒658 神戸市東灘区北青木2-2-1-103  
TEL&FAX 078-411-7178 亀山 英昭  
(プロップ事務局及びプロップ・ネットのB25へ  
ご連絡下さっても結構です)

### プロップ・ウイング

〒530 大阪市北区同心2-4-20-603  
TEL&FAX 06-353-8464

本会活動への支援団体・企業一覧

ご支援頂きました団体・企業の皆様に厚く御礼申し上げます。

- 社会福祉法人大阪ボランティア協会：本会事務局スペースの提供
- 大阪府：地域福祉振興助成金
- 大阪市：「プロップ・ウイング」運営助成金（福祉作業センター助成）
- 朝日新聞大阪厚生文化事業団：朝日福祉助成金
- 毎日新聞大阪社会事業団：「FLANKER」点字版・ディスク版出版祝い金
- アップルコンピュータ（株）：セミナーと事務局運営のための機器（MAC 21台等）寄贈
- （財）千里国際情報事業団：セミナー支援
- 日本電気株式会社：セミナー会場の無償貸与（毎週金曜日）
- アップルセンター肥後橋：セミナー会場の無償貸与（毎月第2水曜日）、編集用CUG提供
- （財）電気通信普及財団：「プロップ・ネット」機器整備助成金
- （財）日本船舶振興会：コンピュータセミナー機器整備助成金
- （財）大阪コミュニティ財団：運営助成金
- （社）経済団体連合会：経団連1%クラブ推薦リストへの掲載

- ライオンズクラブ・チャリティファンド：VANGUARD!（視覚障害部）機器整備助成金
- グループ「ちえの話」：運営支援金
- 大阪ガス（株）いきいき市民推進室：事務局運営支援切手の寄付
- （株）イフ：機関誌発行支援金
- （株）エクセル：音声入力装置の寄贈
- （株）ダイナウエア：セミナーのためのソフトウェア無償貸与
- ジャストシステム（株）：セミナーのためのソフトウェア無償貸与
- （株）管理工学研究所：セミナーのためのソフトウェア無償貸与
- ヤノ電器（株）：CD-ROM、サポート機器等の寄贈
- （財）西宮市都市整備公社（西宮情報センター）：通信活動支援と情報交換
- 関西ネットワーク接続協会（WINC）：インターネットとの接続に関する技術支援
- 日本電子計算（株）大阪支店：インターネット接続のためのUNIXマシンの寄贈
- 読売光と愛の事業団：VANGUARD!支援金（以上抜粋 1992年4月～1994年9月）

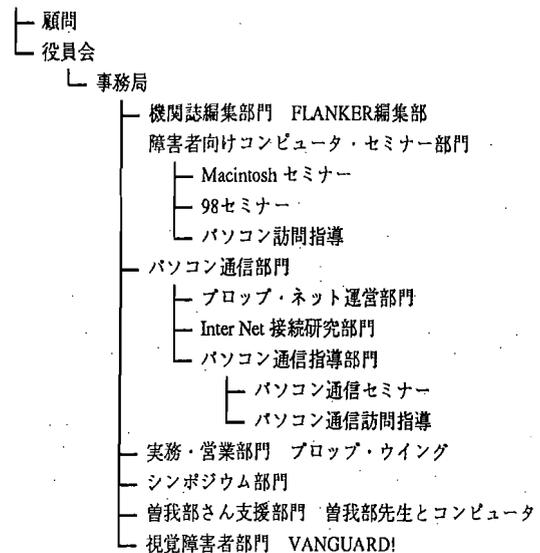
プロップの活動を紹介下さったメディア

NHK・朝日放送・毎日放送・関西テレビ・テレビ大阪・NHK衛星放送・日本福祉放送・ラジオ関西・日本経済新聞・朝日新聞・読売新聞・毎日新聞・産経新聞・神戸新聞・福祉新聞・日経ウーマン・日経アントロポス・ピーピング・テクノロジーピーピング・月刊アスキー・ジャストモアイ・企業市民ジャーナル・読売ファミリー・関西ジャーナル・大阪子連れパワーアップ情報・点字毎日（順不同）

温かい報道を、ありがとうございます。尚、プロップ・ステーションは労働省・日本障害者雇用促進協会発行の障害者求人情報紙に、障害者のためのコンピュータセミナーを行う機関として紹介されています。労働省のご支援に、感謝申し上げます。

組織図

プロップ・ステーション



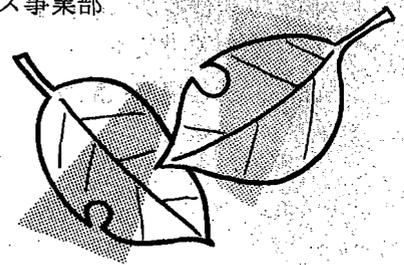
## プロップ・ステーション 顧問・役員・スタッフ名簿

**顧問** 太田 茂 川崎医療福祉大学教授 福祉システム研究会代表  
 中野 秀男 大阪大学工学部通信工学科助教授 関西ネットワーク接続協会 (WINC) 代表幹事  
 早瀬 昇 (社会福祉法人) 大阪ボランティア協会事務局長

**役員** 竹中 ナミ プロップ・ステーション代表  
 榊原 淳 セミナー担当役員：(株)住信基礎研究所副主任研究員  
 坂上 正司 コンピューター通信・企画担当役員：大阪頸椎損傷者連絡会会計監査  
 鈴木 重昭 企画・会計担当役員：プロップ・ウイング所長

### ボランティア・メイン・スタッフ

桜井 龍一郎 機関誌編集長：大阪頸髄損傷者連絡会会員  
 松村 泰江 機関誌編集員：シェリング・ブラウ(株)研究開発本部  
 亀山 英昭 視覚障害部門バンガード代表  
 本間 一雄 訪問指導担当：フリー・エンジニア  
 花田 司 グラフィック講師：大阪府立今宮工業高校グラフィックアーツ科教諭  
 上杉 栄二 プログラミング講師：(株)日本総合研究所情報技術部  
 芝野 真次 プログラミング講師：(株)日本総合研究所サイエンス事業部  
 玉川 竜司 自立支援機器研究：(株)テロ技師  
 林 福美 初心者講座担当：(株)住信基礎研究所大阪研究本部  
 岡 光江 初心者指導担当：(株)住信基礎研究所大阪研究本部  
 早野 秀樹 DTP担当講師：大阪電気通信大学技官  
 木地本 昌弥 ワープロ担当講師：オフィスD&D代表  
 虎松 宏和 CAD担当講師：(株)ダイナウエアCRS開発部  
 内田 優子 データベース講師：(株)ダイナウエアマーケティング部  
 橋口 隆志 DB開発指導：元NTT勤務DB桐オーダーシステム開発  
 草椰 健 AUTO CAD技術指導：(有)ソラーナテクノ代表取締役  
 柳原 秀基 通信技術指導：(株)クボタ素形材事業本部・情報化推進プロジェクト  
 川村 知久 プログラミング講師：堺市民生局福祉部  
 安東 直哉 システム保守：日本DEC(株)コンサルティング/教育本部  
 安岡 広志 CGアドバイザー：名古屋芸術大学講師・CGデザイナー  
 粟田 英樹 セミナー機器保守：シャープ(株)オプトデバイス事業部  
 水原 茂 グラフィック講師：デザイナー  
 長澤 敏 機関誌編集員：(株)関西ジャーナル社記者



(1994年8月現在・敬称略)

太田茂・中野秀男・早瀬昇の各氏に、本年8月15日付けで顧問にご就任いただきました。ハイテク福祉のオーソリティ、太田茂氏。ネットワーク及びインターネットによる身障者支援の第一人者、中野秀男氏。ボランティアと企業市民活動の分野で日本をリードする早瀬昇氏。ますます充実した活動を推進するため、こんなに心強いことはありません。顧問の皆様、どうぞよろしく願いいたします。尚、プロップ・ステーションの活動は、上記メンバーに加え、ボランティア・サブスタッフ約30名により運営されております。改めて、顧問・ボランティアスタッフの皆様にご心より御礼申し上げます。

## お詫び

FLANKER No.9の中で以下の誤りがございました。お詫びして訂正致します。

P5、「トーク・コンピュータがひらく自立支援」のピンディスプレイの説明

誤 「20~40万円」、「120万円」

正 「20~40マス」、「120マス」

P6、「トーク・コンピュータがひらく自立支援」

誤 「ULACS (Ultra Local Area Canvasation System)」

正 「ULACS-K (Ultra Local Area Conversation System by Keyboard)」

P9、「トーク・コンピュータがひらく自立支援」の太田先生の発言

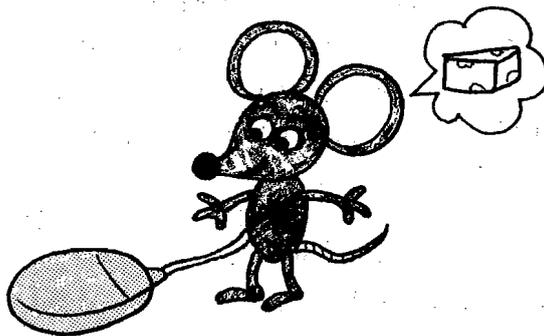
誤 「言葉が書けない、しゃべれない人の場合、コンピュータでコミュニケーションするのも重要だと思  
うんですが、コンピュータ教育の手順からいうと、事務処理のように、まず、コンピュータでなければで  
きないことを覚えてほしいと思います。」

正 「言葉が書けない、しゃべれない人の場合、コンピュータでコミュニケーションすることこそ重要だ  
と思うんですが、事務処理などを先に教えている。そうではなく、まず、コンピュータでなければできな  
いことを覚えてほしいと思います。」

P11、「トーク・コンピュータがひらく自立支援」の竹中の発言

誤 「著作権法に触れないようにログ、つまり、書いた文章を残さないよう、通信上で（その場限り）で  
流すという方法をとったそうです。」

正 「著作権法に触れないように、テレビ局の許可を得て通信上で字幕を流している。」



そがべのりこ

## 曾我部教子さん・支援プロジェクト

アフリカ旅行中に乗った熱気球の事故で、全身マヒになられた尼崎市立若草中学校の理科の先生、曾我部教子さんの教壇復帰のため、コンピュータ技術を結集して支援するためのプロジェクトを準備中です。曾我部さんは、昨年12月、大阪の「海遊館」でマルチメディアを駆使した実験スクールを開催し、好評でした。

## アンケートお礼

9号発行後、プロップ・ネットでFRANKER読者アンケートを行い、多くの方に回答いただきました。ご協力ありがとうございました。この結果は、今後の紙面作りに役立てていきます。

## 編集後記

今年の夏は異常な暑さと水不足に悩まされましたが、プロップの「関西パワー」は衰えを見せず、様々な分野のオーソリティを顧問にお迎えして、ますます活発に活動を推進しています。障害を持つ人達の自立と社会参加、とりわけ就労への意欲が心の底から湧いてくるような支援活動、それがプロップの目標です。パソコンによるネットワークが、そうした活動の媒体として一層充実を望まれる今、プロップ・ネットとインターネットの接続は、どんな未来を私達にもたらしてくれるのでしょうか。大きな期待が寄せられるところです。コンピュータが、私達の生活の一部、身体の延長線として使えるものになるまでには、まだ少し時間がかかりそうです。でも、ユーザーの声は必ずコンピュータを成長させることでしょう。使う人と作る人が、力を合わせていきましょう。プロップ・ステーションでは、コンピュータの福祉活用に関心のある多くの皆様のご入会を、心からお待ちしています！

(ナミねえ)

雨 flanker? [註：関西弁のイントネーションで読む]：8月16日

(うめ吉)

関西空港がオープンしました。日本で初めての24時間空港。深夜は圧倒的な量の貨物便が到着するといいます。鮮度が命のナマモノなどが成田経由よりも1~2日早く市場に出回るそうです。関西発の「FLANKER」いつでも鮮度のいい情報を提供したいものです。

(KIJ)

今年の夏はよく遊び回ったナ。なのに、ちゃんとFLANKERはできあがっている。。編集長の腕がよいとこうなるのね！

(なで)

今年の夏は暑かった。Yシャツを着てネクタイを締めて外を歩いているとほとんど拷問に近いもんがある。誰かネクタイをプリントしたTシャツでもデザインして作ってくれへんかな~

(だすと・びん)

プロップ・ネットがインターネットのドメインを獲得。これで日本中、いや世界中のネットともアクセスができる。プロップの名前が世界を駆けめぐる。14400bpsのモデムが欲しい。

(隼人)

前々から、「もっとレイアウトに凝りたいね~。」と言ってたのですが、今号はそれが少し実現しました。まず、タイトルを専用ソフトで作ったこと。その自由な表現力には感動(ただしWindowsのソフトなもので、Macへのコンバートの問題を避けるため、今回は一番原始的な切り張りで済ませてしまいました)。また上下のラインや「FLANKER」の文字、目次の雰囲気もリニューアル。そして俳句の記事には毛筆体の文字を使用(「ゆ」さんありがと~)。とうわけで、皆さん印象はいかがでしょうか? しかし、自由に表現できるということは、それだけ使う人間のセンスが問われるということやねんな~。できたら、アドバイスをいただけるプロの方がいらしたら・・・、などと考えている今日この頃です(甘いか・・・)。

(げんた)

【KSK FLANKER】 No.10 1994年9月20日 通巻761号

(年4回発行)

編集者：プロップ・ステーション

編集責任者：FLANKER編集長 桜井龍一郎

編集スタッフ：なで うめ吉 ナミねえ うさぎ 隼人 KIJ 箱入り娘  
あき あに だすと・びん

表紙絵・題字：鈴木純子

イラスト：池本訓己 勝部あや子 MIT 山口美紀

編集協力：アップルセンター肥後橋 内田優子 栗田英樹 秋山奈巳

印刷：セルフ社 〒545 大阪市阿倍野区西田辺町2-10 グレース鶴ヶ丘101

TEL 06-691-2365

表紙カラー印刷：(株)オノウエ印刷 〒393 長野県諏訪郡下諏訪町5311

TEL 0266-28-5553

事務局：〒530 大阪市北区同心1丁目5-27 (社福) 大阪ボランティア協会内

TEL・FAX 06-881-0041

郵便振替口座：00910-2-324322 プロップ・ステーション

銀行振込口座：さくら銀行北浜支店 普通3302978 プロップ・ステーション

1984年8月20日第3種郵便物認可

(毎月6回1・5・10・15・20・25の日発行)

発行人 関西障害者定期刊行物協会 大阪市城東区中浜2-10-13 緑橋グリーンハイツアード全国内



PROPSTATION

プロップ・ステーション